

談話

杉田水脈議員の発言に、断固抗議し、謝罪・発言撤回、議員辞職を求めます

2020年9月28日

日本婦人団体連合会

会長 柴田真佐子

自民党・杉田水脈衆議院議員が性暴力被害者に関して行った「女性はいくらでもうそをつけますから」との発言に、断固抗議し、謝罪・発言撤回、議員辞職を求めます。杉田発言は性暴力被害者の尊厳を深く傷つけ、追い詰め、沈黙を強いる暴言であり、性暴力根絶に向けての動きを後退させかねません。

杉田議員は、2018年にはLGBTsカップルに「生産性」がないなどとする差別的な暴言を月刊誌に寄稿し、国民の怒りをかいました。今年1月の衆院本会議では、選択的夫婦別姓導入を求めた野党議員の質問時のやじが大きな問題になりました。杉田議員に国会議員としての資格がないのは明白であり、自民党が、これ以上同議員の人権侵害行為を不問にし続けるのは許されません。

日本はジェンダー格差指数が153カ国中121位というジェンダー平等停滞国です。いまだに社会に根深く存在する偏見や性差別をただすことが政治に求められる役割なのに、国会議員が率先して性差別的発言を行うことは許されるべきことではありません。杉田水脈氏には国会議員の資格はありません。発言に断固抗議し、発言の撤回・謝罪、そして議員辞職を求めます。